

情報化関連業務委託（包括アウトソーシング）の次期契約について

本市では、情報システム及び関連機器等の運用、保守等の効率的かつ適切な対応による、市民サービスの向上や行政事務の効率化を図る目的で、情報化関連業務委託（包括アウトソーシング）（以下「包括OS」という。）を行ってきました。

現在の包括OS契約が令和 7（2025）年度をもって期間満了を迎えることから、次のとおり次期契約の締結に向けた事務手続きを進めます。

1 これまでの経過

株式会社カシックスを契約の相手方として、次のとおり長期間の契約を締結

- ・平成 23（2011）年度～令和 4（2022）年度（12年間）
- ・令和 5（2023）年度～令和 7（2025）年度（3年間）

2 次期契約

(1) 目的

ア 情報システムや情報システム機器等に関する専門的知識や技術などを有する事業者に、情報化関連業務を包括的に委託することで、市の情報化関連業務に係る人的、財政的負担の軽減と効率的なシステム運用

イ 市民対応や政策立案といった市の職員でなければならない業務への人的投資による市民サービスの向上

(2) 受託意思が確認できた事業者

株式会社カシックス

(3) 契約期間

令和 8（2026）年度～令和 12（2030）年度（5年間）

(4) 対象業務

本年 9 月までに、現行契約の対象としている基幹系、内部系システムをベースとしつつ、契約の対象とする業務の選定作業を進めたい。

(5) 契約金額

市議会令和 7（2025）年 9 月定例会議までに債務負担行為額として精査をした上で、上程したい。

(6) 今後のスケジュール（予定）

- 6 月～8 月 対象業務システム精査
- 6 月～8 月 契約金額内訳（事業計画）の精査
- 9 月 債務負担行為の設定
- 1 月 契約の締結